

会 議 録

会 議 名	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会（令和4年度第3回）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和5年2月24日（金）午前10時から11時45分		
開 催 場 所	第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	亀山章委員長 椎名豊勝委員 伊東孝委員 小野良平委員		
欠 席 委 員	なし		
出 席 職 員	関生涯学習課長 碓井文化財係長 高木文化財係主任（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	5人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) ヤマザクラ補植事業について</p> <p>(2) 都立農業高等学校との事業連携について</p> <p>(3) サクラの生育状況調査について</p> <p>(4) 名勝の普及啓発について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 小金井桜名勝指定100周年事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 文化財講演会「小金井桜の誕生～史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜～」について</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 玉川上水・小金井桜を紹介する動画作成及び公開について</p> <p>2 その他</p> <p>3 次回の会議日程</p> <p>4 配付資料</p> <p style="padding-left: 2em;">資料1 名勝「小金井（サクラ）」整備事業 令和4年度</p> <p style="padding-left: 2em;">資料2 都立農業高校との事業連携</p> <p style="padding-left: 2em;">資料3 名勝小金井（サクラ）生育状況調査台帳 速報版</p> <p style="padding-left: 2em;">資料4 史跡・名勝の維持管理の進捗</p> <p style="padding-left: 2em;">資料5 史蹟名勝小金井桜調査報告書</p> <p style="padding-left: 2em;">資料6 名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業 イメージ図（案）</p> <p style="padding-left: 2em;">資料7 文化財講演会資料</p>		

会 議 結 果

<p>関生涯学習課長</p>	<p>おはようございます。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。只今から、令和4年度第3回玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会を開催いたします。</p> <p>本年度最後の委員会の開催となります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>委員会の議事進行につきましては、亀山委員長をお願いいたします。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>それでは早速始めさせていただきます。</p> <p>「報告(1) ヤマザクラ補植事業について」についてご説明をお願いします。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>1 報 告</p> <p>(1) ヤマザクラ補植事業について</p> <p>～資料1を元にご報告～</p> <p>令和4年度につきましても、名勝小金井（サクラ）の並木保護の観点で、桜の苗木の補植を行うことができました。令和4年度は、当初予定しておりましたものが10本、こちらは令和5年2月17日（金）に補植が完了しております。さらに、令和5年2月9日（木）に2本、都立農業高校の高校生の手で植樹を行いました。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>令和4年度は、資料1に記載のある通り、既存木の欠損に対する補植、ということで、26本の補植候補地のうち、12本について補植を行った、ということです。</p> <p>本件について何かご意見、ご質問等がございますか？</p> <p>植樹実施日が2月17日ということで、時期的には適切なタイミングであると考えます。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>ところで、苗木の提供元についてはどちらになりますか？</p> <p>東京都教育庁が植樹を行った10本については、苗木の提供元は市内事業者の「杉山造園」より、また、都立農業高校が植樹した2本の苗木については、高校が管理する苗圃において育成していただいている苗木を植樹しました。何れも、歴史的系譜に基づいた苗木になります。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>今ご説明いただいた内容を、これまでと同様きちんと記録として残していただく必要があります。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>おそらく接ぎ木によるものだと思いますが、穂木を取った元の木の番号等も可能であれば記録に残しておくと思いいます。</p>
<p>伊東委員</p>	<p>今亀山委員長、椎名委員がご指摘されたような内容が、いわゆる「歴史的背景」に当たるわけですね？</p>
<p>椎名委員</p>	<p>継承に繋がっていきます。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>穂木をどの木から取ったのか、までをきちんと記録に残しておいていただくと良いと思いますので、よろしく願いします。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>穂木を取った元の木についても、全て記録は残しています。</p>

<p>椎名委員</p>	<p>苗木を育成する段階で、そのような情報についても全て登録しておく、という手法が必要であると思います。それはこれからの話になるかとは思いますが。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>本整備事業のような事業は、これから全国的にも様々な所で行なわれていく、と思われまますので、本整備事業が良き先例となることが、今後同様の事業に携わる人にとっても非常に大切なことになっていく、と思いますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>委員全員 亀山委員長</p>	<p>それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？ (異議なし) それでは、「報告(2) 都立農業高等学校との事業連携について」についてご説明をお願いします。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>(2) 都立農業高等学校との事業連携について それでは、「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」に関する、都立農業高校との事業連携につきまして、協議が整ったことから、この度、都立農業高校の生徒による苗木の補植作業を実施いたしましたので、合わせてご報告させていただきます。 まず、本件に至るこれまでの経過につきまして、簡単にご報告させていただきます。 令和3年3月に、本市の「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト」に、学校として何か協働で取り組めることはないか、という趣旨のお申し出を都立農業高校よりいただきました。本市といたしましても、「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト」をさらに推進していくためにも、また、次世代を担う若い方々に、文化財保護事業の意義を共有していただくことは大変意義深いことであると考え、このお申し出を大変ありがたくお受けいたしました。お申し出をいただいて以降、現在までの間、様々な調整をさせていただきましたが、これまで「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクト」の推進に多大なるご協力をいただいた「名勝小金井桜の会」の会員の方による農業高校生徒への接ぎ木の技術の伝授等、農業高校と「名勝小金井桜の会」様との間でも交流を深めていただきました。また、合わせて、名勝小金井(サクラ)の管理者である、東京都教育庁文化財担当にも報告・相談させていただきました。 「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」に係る主な連携項目といたしましては、ヤマザクラ苗木の育成に関することと、ヤマザクラ並木への補植に関することが挙げられます。 この度、令和5年2月9日(木)に、本市と農業高校との連携事業の始まるの記念といたしまして、農業高校にて育成した2本の苗木を、玉川上水堤に、高校生の手で植樹していただきました。なお、本日資料2といたしまして、当日の高校生による植樹風景の写真、及び令和5年2月1日付けで本市と農業高校との間で取り交わしをさせていただきました協定書の写しを付けさせていただきました。また、当日はマスコミ各社の取材にも来ていただくことができました。</p>

<p>亀山委員長</p>	<p>この度の連携につきましては、令和5年2月1日付けで本市と農業高校との間で取り交わしをさせていただきました協定に基づき実施させていただいたものですが、令和5年度以降につきましては、農業高校のご意向を踏まえ、サクラ並木の補植の可否、またその他事業の連携を含めて、年度毎に調整させていただきながら進めさせていただきたい、と考えております。</p> <p>この度の連携により、「名勝小金井（サクラ）復活プロジェクト」が進展していくことはもとより、「高校生という若い時分から、文化財保護事業に携わる経験は大変重要なことである。」という農業高校のお考えを尊重させていただき、今後も連携を深めてまいりたいと思います。</p> <p>報告は以上です。</p> <p>ありがとうございます。本件について何かご意見、ご質問等がございますか？</p>
<p>椎名委員</p>	<p>作業内容的には課題は色々ありますが、「参加させる」ということは大変重要なことだと考えますし、是非他の団体にも枠を広げていくことで、本事業の輪を広げていただきたいと思います。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>ただ、農業高校に関して言えば、技術を伝え、教育していく機関でありますし、苗木の育成を含め、小金井桜の歴史的経緯も踏まえた上で継承していくことができる、という点が非常に重要なので、「本事業の輪を広げる」という観点とはまた別の観点で捉えてもよいのかな、と考えます。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>大変良い話ですし、今後是非、本事業における農業高校の位置づけを明確にさせていただくと良いと思います。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>ただいま椎名委員よりいただきましたご意見につきまして、「名勝小金井（サクラ）復活事業」につきましては、様々な方々のご理解・ご協力をいただきながら進めさせていただいている事業であり、今回農業高校様より大変ありがたいお申し出をいただきましたので、「名勝小金井桜の会」の会員の方による接ぎ木の技術の伝承、という部分と、農業高校の敷地における苗木の育成、という部分とで、今後本連携事業を進めていく上での1つのスキームができたのでは、と考えております。</p> <p>ただし、これはあくまで「官学連携」ということでございますので、農業高校のご意向を踏まえた上で、今後進めていく事業、ということが第一であると考えております。</p>
<p>亀山委員長 関生涯学習課長</p>	<p>連携協定書の内容について、簡単にご説明いただければ、と思います。</p> <p>それでは、連携協定書の内容につきましてご説明させていただきます。</p> <p>まず、協定の目的といたしましては、本市の「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」に関する連携、ということで、「ヤマザクラ並木を保護、後世に継承していくため」とさせていただいています。</p> <p>続きまして、最も重要な連携項目、というところで、第2条で掲げております4項目となります。1項目めといたしまして、「ヤマザクラ苗木の育成に関すること」、2項目めは「ヤマザクラ並木への補植に関する</p>

<p>亀山委員長 関生涯学習課長</p>	<p>ること」、以下3項目めは「施設の利用に関すること」、4項目めは「その他両者が必要と認めること」、以上4項目となっております。</p> <p>3項目めの「施設の利用に関すること」の「施設」というのは何を指しているのでしょうか？</p>
<p>伊東委員 関生涯学習課長</p>	<p>「施設」につきましては、現在、農業高校が所有している農地をお借りさせていただいて、サクラの苗木の育成をさせていただいています。</p> <p>先ほどのご報告の中でも触れさせていただきましたが、以前は市内の小長久保公園内で育成を行っていたサクラの苗木を、農業高校が所有する農地内に移管させていただいております。それらの苗木につきまして、移管後農業高校の先生のご指導の下、農業高校の農地において育成させていただき、この度そのうち2本の植樹を行った、ということですので、農業高校が所有している農地、そして文化財センターを含めた、市が所有している「施設」の相互利用、という話にも繋げていく、という趣旨でございます。</p> <p>また、年度毎の植樹本数等の、毎年度の連携の具体的な内容につきましては、別途農業高校と市との協議において決めてまいりたいと考えております。</p>
<p>亀山委員長 関生涯学習課長</p>	<p>協定の有効期限が1年間、というのはどのような考えに基づくものなのでしょうか？</p> <p>協定の第4条にございます通り、両者に特段の申し出がなければ自動的に延長する、という内容になってございますが、農業高校にも時々事情があると思っておりますので、「1年間」という有効期間とさせていただきますべく形を取らせていただいております。</p>
<p>亀山委員長 関生涯学習課長</p>	<p>要するに、有効期間としてはとりあえず1年間を設定するが、両者に特段の事情がなければ、今後もずっと続いていくもの、という理解でよろしいでしょうか？</p> <p>あくまで農業高校の側のご意向もございましたので、年度毎に、事業成果等も踏まえて、次年度以降の連携について協議を行っていくべき、との考えに立ち、有効期限としては「1年間」とさせていただきますました。</p>
<p>椎名委員 高木主任(学芸員)</p>	<p>現在、農業高校敷地内の苗圃では、何本くらいのサクラの苗木の育成を行っているのでしょうか？</p> <p>小長久保公園から農業高校の農地に移管された苗木が約40本あり、今回植樹した2本はその中のものとなります。さらに、それとは別に、本協定に基づき、農業高校が接ぎ木を行い、一から苗木の育成を行うことも始めていただいておりますので、今後ゆくゆくは、接ぎ木で育った苗木が、植樹の主体となっていくようであれば、それは大変望ましいことであると考えています。</p>
<p>亀山委員長 高木主任(学芸員)</p>	<p>農業高校は、令和3年度に、接ぎ木の実習を行っていますが、接ぎ木によって一から育成を行っている苗木のうち、しっかりと育っているものは何本程度あるのでしょうか？</p> <p>正確な本数は伺っていませんが、十数本は育っている、接ぎ木の成功割合にして1割程度という話は伺っています。</p>

<p>椎名委員</p>	<p>接ぎ木と育成については、令和3年度から、農業高校における授業の中で継続的に進めていただいていますので、農業高校のご意向としては、接ぎ木を行った生徒が在学中のうちに植樹を行いたい、というご意向がございまして、育成状況等を見ながら判断してまいりたい、と考えております。</p> <p>学校の授業のカリキュラムの中に組み込んでいただけている、ということは、かなり永続的な事業として考えていくことができますし、技術の向上、という教育的観点からは、農業高校にとってもかなり良い取組になっていくと考えます。</p>
<p>伊東委員 椎名委員</p>	<p>いずれは年度計画的なものもできてくるのでしょうか。</p> <p>そこまでできれば、本事業にとってもかなりの前進、と言えると思います。非常に評価できる内容であると思います。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>この度の協定につきましては、「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」に基づく協定になりますので、基本的には計画の枠組の中での連携、となります。</p> <p>ただ、今後連携をより広げていく、という観点に立てば、例えば玉川上水堤以外の場所への植樹など、方法は様々考えられると思いますが、今後の農業高校との調整次第であると考えます。</p> <p>ただし、あくまで第一義的には、「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」に基づく、「名勝小金井（サクラ）復活事業」の一環、ということがございまして、まずは、その枠組の中でしっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますし、同時に、今後の展開につきましても、農業高校としっかりと調整してまいりたいと考えております。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>小金井市の立場としては、「名勝小金井（サクラ）復活事業」をしっかりと推進していくことが第一義になるのだと思いますが、農業高校、特に生徒の皆さんに、「自分たちがこれだけ価値のあるものを作っている。」ということをしっかりと実感してもらうことが非常に大切であると考えます。</p>
<p>伊東委員</p>	<p>特に高校生の皆さんにそういったことをしっかりと自覚してもらうことで、生徒の皆さんの将来の展望を広げることや、今後も農業高校に事業の一翼を担ってもらうことへのモチベーションにも繋がっていくと考えます。そういったことは、農業高校から話を受けて動く、というよりも、市の側で構想を描き、仕掛けていくべきと考えます。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>様々なご意見をいただきありがとうございました。市といたしましても、今回の協定締結によって、今後の可能性が広がった、と認識しています。農業高校には、まず地域連携、地域活性化の観点から、「若い高校生の時分から文化財保護事業に携わることは非常に重要なことである。」とのお考えのもと、連携のお申し出をいただいた経過がございまして、まずはそのお考えを尊重させていただきながら、今後の展開についても考えて参りたいと思います。</p>
<p>亀山委員長 委員全員</p>	<p>それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？ (異議なし)</p>

<p>亀山委員長</p>	<p>それでは、「報告(3) サクラの生育状況調査について」についてご説明をお願いします。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>(3) サクラの生育状況調査について          令和4年度実施しました「サクラの生育状況調査」の調査結果の速報版です。          今回の調査の経緯といたしましては、補植したサクラの生育状況の把握、さらに本整備事業自体の効果の検証、という観点も含め、経過をしっかりと見ていくべき、というご意見を本委員会においてもいただいております。          その上で、まずは第1回調査として、平成29年12月に生育状況調査を実施いたしました。今回は、それに続く第2回生育状況調査、という形で、調査対象といたしましては、小金井市域の233本、小平市域の1本、武蔵野市域の8本、本年度に東京都教育庁及び農業高校によって植樹を行った12本の合計254本のサクラについて調査を行いました。          第2回となる調査を行ったことで、第1回調査時の結果と比較できるデータができたことで、より正確な分析ができるようになりました。          データの量が大変多いですので、細かな分析は割愛させていただきますが、今回調査をご担当いただきました亀山委員長より、ご講評を賜れば、と考えております。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>それでは亀山委員長、よろしく願いいたします。          本調査は、5年前に行った第1回調査とほぼ同じ内容で、令和5年2月8日(水)に実施しました。樹高、1.3mの高さの幹回り、枝張りを東西南北4方向について計測を行いました。本来であれば、植栽時にも調査を行っておけばより高精度のデータを得ることができるのですが、植栽時調査を行った経過がございませんので、高さ3.5m以上、太さ15cm以上、というのが一般的な規格となりますので、その程度の大きさを1つの目安とすることはできますが、正確なデータではない、というのが前提条件となります。ただし、5年前に行った第1回調査と今回調査とは、同様の測定手法を用いていますので、「5年間の生育状況」については正確なデータを得ることができています。          全体的には生育状況は大変良く、人の足で根元を踏み荒らされる恐れのないフェンス内側に植樹を行ったことが結果的に非常にプラスに作用した、とお考えいただいて良いと考えます。          ただし、「管理」という観点に立ちますと、本来除草処理を行うべきサクラの根元付近に生息しているヒコバエの草刈りが不十分であったり、幹に弦が巻き付いた跡が多数見られたり、極めて不十分と言わざるを得ない、というのが率直な印象です。          さらに、資料4をご覧いただきたいのですが、2枚の写真の場所両方において、右岸の部分は除草処理がきちんとなされていますが、左岸の部分は法面の部分が鬱蒼としており、本来きちんと除草処理を行うべき</p>

	<p>箇所について、除草処理が中断したままの状態では放置されている、という状況があり、これはサクラの生育上も非常に良くないだけでなく、文化財保護の観点からも、「名勝」と呼ぶにふさわしくない状態である、ということ、また、事業を中断したままの状態にする、という進め方自体にも非常に問題がある、ということをはっきりと申し上げておきますので、この件については、市の方から、東京都水道局に、適切な管理を強く申し入れをしていただきたいと思いますと考えます。</p> <p>なお、資料3につきましては、あくまで現時点での速報版であり、内容面で精査が必要なため、現時点での概要報告、として受け止めていただければ、と思います。</p> <p>また、本調査につきましては、私と「名勝小金井桜の会」とで行ったものです。</p>
椎名委員	<p>本調査の内容は、正に「管理とはこうあるべき」という模範解答であると考えます。この調査結果を精査すると、色々なことがわかります。</p> <p>例えば成長度合いの点で言いますと、幹回りが特に重要であると言えます。ヤマザクラは成長度合いにも個体差があり、成長が非常に早い個体、遅くても着実に成長する個体、成長が鈍化し、衰退が始まっている個体等々、様々あるので、今回は2回目の調査、ということですが、もう1回調査を行えば、そういった個体差がより明確になり、その個体の属性が見えてきますし、衰退期に入っている個体もはっきりと見えてくるので、そのような観点からも、本調査は非常に重要であると言えます。</p> <p>同時に、本調査のような調査を定期的に継続して行っていくことこそが、適切な管理を行う上で必要不可欠であると言うことができ、東京都教育庁にも是非管理の重要性を理解していただければ、と考えます。</p>
伊東委員	<p>先ほど亀山委員長より、「ヒコバエの草刈りが不十分」とのご指摘がありましたが、同様の話は何年も前から度々東京都に申し入れを行っているにも関わらず、十分な対応が行われなままの現状がある中で、将来的な話になりますが、例えば東京都教育庁から市に予算を下ろしてもらい、先ほど議題に上がった農業高校との連携協定等も視野に入れつつ、市として管理を行っていく、というのは難しいでしょうか？</p>
亀山委員長	<p>文化財の管理、というのは基本的には所有者が行うべきものですが、東京都水道局も、東京都教育庁も、それを十分に行っていない、という現状がある以上、そういった形も1つの手段として考えられなくはない、と考えます。</p>
椎名委員	<p>現状は、「土地は東京都水道局、サクラは東京都教育庁」という形ですので、「土地は東京都水道局、サクラは小金井市」ということでもおかしくはないと思います。</p>
亀山委員長	<p>手法としては色々な形が考えられると思いますが、「市として管理を行いたい。」という姿勢を明確に見せる、ということが重要であると考えます。</p>
小野委員	<p>台帳における記録の手法についてですが、途中で植替（補植）を行っているものがありますが、そのような場合、番号は新しく植替を行った</p>

高木主任(学芸員)	ものに引き継がれるのでしょうか？即ち、個体番号は「個体」に対して振られているのか、「位置」に対して振られているのか、どちらなのでしょう？
小野委員	ご指摘をいただいた通りで、本整備事業開始以降に付番を行ったものにつきましては、枯死による植替（補植）を行ったものについては、個体番号は以前のもをを引き継いでいます。
高木主任(学芸員)	そうであるならば、個体番号は同一であっても、個体として植替（補植）を行っているものに関しては、その情報をきちんと記録に残しておく必要があると考えます。
高木主任(学芸員)	資料3におきましては、ご指摘いただいた部分の記載がやや不十分ではございますが、バックデータとしては、「植替（補植）により個体が変わった。」という事実はきちんと記録を残しています。
亀山委員長	付番につきましては、管理者の東京都教育庁が一義的に行っており、小金井市は東京都教育庁が付番している番号に沿って、東京都教育庁との協議を行った上で植替（補植）も行っており、市の方で番号の付け替え等を行うことはしておりません。
高木主任(学芸員)	では、資料3の中にある個体番号は、東京都教育庁が付番したものであり、付番がなされた瞬間に、「名勝小金井（サクラ）」となっている、という理解でよろしいでしょうか？
高木主任(学芸員)	東京都教育庁の管理下に置かれている、という観点では、客観的にはそうなります。
亀山委員長	ただし、その部分の東京都教育庁のルールを細部まで把握できていないので、確認が必要な部分ではあります。
高木主任(学芸員)	付番のルールが若干あやふやになっている印象を受けるので、混乱の要因とならないためにも、ルールを明確化する必要があると考えます。
高木主任(学芸員)	なお、本年度の調査においては、整備事業開始後に植樹した個体のみを調査対象としており、既存木に関しては調査対象にはしていません。
高木主任(学芸員)	資料5の中で、「ナラタケモドキ」という記載がありますが、これは1度発生してしまうと、その場所には数年間は植樹を行うことができない状況になります。そうなってしまうと、「位置」に対して付番を行っている場合、非常に大きな問題になります。また、管理上も「ナラタケモドキ地図」のようなものを作成する必要がある、と考えます。
高木主任(学芸員)	椎名委員よりご指摘をいただきましたので、ご説明させていただきます。
高木主任(学芸員)	本年度の生育状況調査においても、枯死または枯死が疑われる個体が散見されています。本件は、枯死判定の調査を実施した東京都教育庁より資料の参考送付をいただいております。
高木主任(学芸員)	なお、全域の個体を対象とした調査ではなく、一部区間4本の個体をサンプルとして抽出した上での調査であることをご承知おきください。
高木主任(学芸員)	調査結果としましては、枯死の原因として様々な要因が考えられたが、樹木医による調査の結果、サクラの個体を枯死に至らしめる「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」であることがほぼ間違いないこと

が判明した、というのが所見になります。特に根元の部分に「ナラタケ菌」が確認された、とのこと。そのため、今回調査を行った4本のうち3本は「枯死」という認定になっています。

残りの1本につきましては、「枯死」ではないが、樹勢が弱っている「衰退木」という位置づけになっています。虫害こそ見られなかったものの、葉が落ちており、見た目的には「枯死」状態であるようにも思えるのですが、樹木医の判断としては、明確な表現こそ避けているものの、近年の異常気象等の何らかの要因で、「休眠状態」に入ったものと思われる旨記載されています。明確な要因こそ判明しなかったものの、今後経過観察が必要な樹木の1本、ということです。

また、細かく観察すると、今回調査対象とした4本に限らず、根本付近に鋭利な古い傷跡が見られる個体が多くあり、おそらく草刈りの作業を行う際に用いる草刈り機の刃の跡と推察されることから、維持管理の際にはより丁寧な対応が求められる旨記載されているところです。「考察」及び「対策」においては、「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」が原因で枯死した個体については、個体そのものはもちろん、周辺の土壌も少なからず影響を受けており、個体そのものの伐採、抜根はもちろんのこと、その後、「ナラタケ菌」に汚染された土壌の回復のため、3年間以上の土壌の放置が必要になる、補植の再開に際しては、土壌の改良が必要となる旨も明記されています。

そのため、再度の補植が行えるようになるまでの土壌の正常化への対応につきましては、今後東京都にも依頼していきたい、と考えているところです。

また、「衰退木」についても、成長を促すための対応が求められる旨も記載されており、土壌の観点も含め、今後適切な措置が必要であると考えます。

最後に、樹勢を保つための対策として、数年毎に場所を変えて、衰退木の対策を行っていくこと、また、草刈りの際の対策として、根本付近の草刈りを行う際は手刈りを基本とし、根元を損傷させることがないよう十分注意して行うこと、というご指摘をいただいています。

今回の調査はごく限られた一部の個体に対してのみ行った調査ですが、名勝小金井（サクラ）全体に波及する話である、と考えますし、東京都が実施した調査ですので、この結果については当然に「名勝小金井（サクラ）」の管理者である東京都教育庁、並びに土地を所有している東京都水道局も共有しておりますので、今後徹底していただければ、と考えています。

私からの説明は以上です。

椎名委員

この結果は深刻に受け止めるべき、と考えます。草刈りの際に、菌に侵されている個体の樹皮が傷つけられると、その傷口から草刈り機の刃に菌が付着する、そして、菌が付着した状態で他の樹木を傷つけると、その傷口から菌が付着し、病気が「伝染」する、ということに繋がりますので、草刈りの際に、樹木を傷付けないような何らかの対策を立てる

	<p>必要があります。例えば、草刈りを行う際に、根元部分をカバーで覆うような対策も考えられます。</p> <p>そして、都市部、ということをおおそらく「ナラタケモドキ病」と考えられますが（「ナラタケ病」は一般的に山間部で多く見られる。）、いずれにしても、この調査結果における指摘はかなり正確であり、「ナラタケモドキ」の生息時期である、夏季の8～9月に確認すればよりはっきりとわかります。</p> <p>目視確認は、樹木医等の専門家でなくても、「ナラタケ」及び「ナラタケモドキ」の写真を見て適切な訓練を行えば、誰にでも可能なものですので、そのような確認の手法もあると考えますし、「汚染地図」のようなものを作成する、というのも一案と考えますが、「ナラタケ病」「ナラタケモドキ病」に侵されてしまうと、かなりの確率で枯死してしまうことは確実と言えます。いきなり倒木する、ということはそれほどありませんが、かなりの確率で枯死してしまい、生き残る確率はかなり低い、と言えますので、とても厄介です。</p> <p>いずれにしても、草刈りの際に個体の樹皮が傷つけられてしまう、ということは何らかの手段で回避する必要がありますので、草刈りの際に何らかの対策を立てる必要があります。何らかの策を講じなければ病気が「伝染」しますし、さらに、「感染」した個体が根の部分を通じて他の個体と接触すればさらに「感染」が広がる、それほど「伝染力が強い」病気です。</p> <p>そういった意味でも、この調査結果は大変重要な情報であると言えます。</p> <p>今後の「伝染」の状況にもよりますが、場合によっては毎年状況を調査し、「汚染地図」のようなものを作成して全容把握に努める、といったことも必要になってくるかもしれません。</p> <p>ただ、まずは草刈りの際に最大限の注意を払う、ということが何よりも重要であると考えます。</p>
亀山委員長	<p>やはり1度、夏季に事前に草刈りを済ませておいてもらうよう東京都水道局と調整した上で、「ナラタケ病」「ナラタケモドキ病」の感染状況調査を、東京都教育庁に依頼するか、市が行うのかは別として、行うべきと考えます。</p>
椎名委員	<p>その際に、「サクラの生育状況調査」の調査結果は非常に貴重な資料となります。「ナラタケ」「ナラタケモドキ」が視認される状況、というのは、罹病としては既にかかなり進んだ状況と言えますので、その前段階で発見するためには、生育状況の把握が何よりも重要になります。</p>
亀山委員長	<p>感染が広がってしまうと本当に大変なことになってしまいますので、これは早急に対策をお願いしたいと思います。菌類は本当にサクラにとって天敵です。</p>
伊東委員	<p>1度「ナラタケ病」「ナラタケモドキ病」に侵されてしまうと、その個体は間違いなく枯死してしまうのでしょうか？特効薬のようなものはないのでしょうか？</p>

椎名委員	残念ながらほぼ確実に枯死してしまいます。以前は効力のある農薬があったのですが、人体にも影響を及ぼす、ということで製造禁止となつてしまい、現在はもうありません。
亀山委員長 委員全員 亀山委員長	それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？ (異議なし)
	それでは、「報告(4) 名勝の普及啓発について」についてご説明をお願いします。 まずは、「ア 小金井桜名勝指定100周年事業について」についてご説明をお願いします。
碓井係長	(4) 名勝の普及啓発について それでは、小金井桜名勝指定100周年記念事業につきまして、前回委員会時からの進捗につきましてご説明させていただきます。お手元の資料6をご覧ください。
	先日、令和5年2月3日(金)に、9月の説明会にご出席を賜りました、市内の代表的な事業者団体・奉仕団体の代表者の皆様にお集まりいただき、第1回の「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年実行委員会」を開催させていただきましたことをご報告させていただきます。 その際、実行委員会の組織につきましては、実行委員長に教育長の大熊、名誉実行委員長に市長の白井が就任させていただき、事務局は、私ども生涯学習課と、これまで「名勝小金井(サクラ)整備事業」において10年以上に渡り、市と協働関係を築いてくださっている「名勝小金井桜の会」様とで担わせていただくこととなりました。 また、事業のキャッチコピーについては、「名勝小金井桜を「知る」「つなげる」「笑顔広がる」とし、「名勝小金井(サクラ)」のことを、もっと広く市民の皆さん、特に未来を担う多くの子どもたちに知ってもらおうきっかけとすること、小金井の未来を担う世代の子どもたちに、「名勝小金井(サクラ)」の存在、そしてその歴史・現在・未来について正しく知ってもらうことを通じて、「自分が生まれ、育ったまち小金井」への郷土愛や誇りを育み、受け継いでもらうこと、そして、この記念事業を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で少なからず失われた「まちの盛り上がり」や「市民の皆様の笑顔」を取り戻すきっかけとすることを目指すこととし、具体的には、記念式典、学校等への桜の植樹、「名勝指定100周年記念事業」と銘打った冠事業や、実行委員会にご参加くださっている団体の皆様が日頃のご活動の中で培われたノウハウを生かした多彩な特別事業を行う、という方向性についてご説明させていただき、同時にワールドカフェ形式で多くの貴重なご意見もいただきました。 今後につきましては、年度明け早々に、断続的に実行委員会を開催させていただき、今年8月末頃を目途に事業全体の大枠を決定すべく、実行委員会での議論を進めてまいりたいと考えております。 本件につきましては、今後も引き続き、進捗状況等につきまして、本

	<p>委員会に報告させていただき、必要に応じて、ご意見等を頂戴できれば、と考えさせていただいておりますので、今後も何卒よろしくお願いたします。</p> <p>私からは以上です</p>
亀山委員長	<p>ありがとうございました。ちょうど100周年を迎えるのは何年なのでしょう</p>
碓井係長	<p>令和6年12月9日になります。</p>
伊東委員	<p>記念事業については、令和6年12月9日に実施するのでしょうか</p>
碓井係長	<p>記念事業につきましては、冠事業等も含めると様々な事業を、それこそ令和6年の1年間かけて実施していく形になるものと思われ</p> <p>記念式典につきましては、12月9日の近辺での開催を想定しておりますが、令和6年12月9日当日が平日であることから、当日夜間に開催するのか、或いは前後の土日で開催するのか、それにつきましては今後実行委員会において議論していくものと考えています。</p>
伊東委員	<p>前回会議時に話の出ました「銘品づくり」等を行うのでしょうか</p>
碓井係長	<p>先日開催させていただきました第1回の実行委員会において、各参加団体の皆様に、次回の第2回実行委員会に向けて、「我々の団体はこういうことができます。」というご提案をいただきたい旨ご依頼させていただきました。</p> <p>実際にどのような事業を行っていくのかについては、今後各団体の皆様からいただいたご意見を元に、実行委員会において検討し、決めてまいります。</p>
伊東委員	<p>そのような受け身の姿勢だけでなく、行政の側から提案する、働きかけることもできるのではないかと、という趣旨で申し上げたのですが、やり方次第かとは思いますが、行政側からアイデアを出すことはできるのではないのでしょうか</p>
碓井係長	<p>第1回実行委員会においては、事務局（生涯学習課）から、本事業のような記念事業において実施された事業の他自治体の事例について、具体的な事例を掲げて説明させていただきました。</p>
伊東委員	<p>そのような事業は、多くはその瞬間だけで終わってしまうものが多いのでは、と考えます。そのようなものではなく、作るきっかけは「100周年」であったとしても、その後長く愛されていくようなものを作ることができれば、と考えます。</p>
関生涯学習課長	<p>あくまで「100周年記念」であり、令和6年12月9日、という日が1つの大きな節目であると考えており、様々な事業を実施することでその日に向けて機運を盛り上げていく、というのが1つの大きな主眼になります。</p> <p>一方で、「名勝小金井（サクラ）」の歴史自体は、今後もずっと続いていきますので、「100周年記念」の盛り上がりを一過性のものとせず、長く続けていけるように、ということは大切にしてまいりたいと考えております。</p> <p>具体的に今後どのような事業を行っていくのか、については、今後</p>

<p>伊 東 委 員  關生涯学習課長  龜山委員長  委員 全 員  龜山委員長</p> <p>高木主任(学芸員)</p>	<p>様々なご意見を参考にさせていただきながら検討させていただければ、と考えております。</p> <p>「盛り上がりを継続できるような仕掛け」というのは事前に考えた上で事業を実施する必要がある、と考えております。</p> <p>貴重なご意見どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、「イ 文化財講演会「小金井桜の誕生～史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜～」について」についてご説明をお願いします。</p> <p>普及啓発、PRの部分を強化する観点から、令和4年度の文化財講演会を開催させていただきましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>タイトルは、「名勝小金井桜の誕生」です。副題が「史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜」となっており、近代にスポットを当てた内容となっています。講師は渋沢栄一資料館の学芸員、清水裕介氏にお願いしました。</p> <p>清水氏は、以前に小金井市史編さん委員会の調査員として携っていた方で、小金井桜並びに小金井市の近代史についてご専門にいらっしゃいます。</p> <p>開催日時につきましては、令和4年11月25日(金)18時30分より行いました。</p> <p>参加者数は23名でした。</p> <p>「名勝」が誕生するまでの経過を、近代、明治時代以降に絞って、ご説明をいただきました。</p> <p>清水氏は、近代史の中でも特に明治天皇の行幸についてや、渋沢栄一の生涯についても専門的にご研究をされていらっしゃいますので、それらと「名勝小金井(サクラ)」の歴史との関わりを中心に、明治～大正時代の</p> <p>「名勝小金井(サクラ)」の歴史についてご説明していただきました。</p> <p>明治天皇は1度、小金井桜の観桜目的で行幸されています。また、侍従の方々はその後も毎年観桜されています。そして、それはおそらく明治天皇のご指示によるものと言われていています。その事実が何を示しているかをご説明させていただきますと、元々京都にお住まいであった明治天皇が東京にいられて、当時の京都における宮中文化を東京の多摩地区に求められた、という新たな見解が示されています。</p> <p>そのような観点からも、日本の近代史における「小金井桜」の存在の重要性が示されている、とすることができます。</p> <p>また、1924年の名勝指定に当たっては、渋沢栄一をはじめとする実業家、有力者、地元住民の方々が、小金井桜の保護活動に尽力した背景も詳らかになっています。</p> <p>「小金井桜の歴史の話」となると、これまでは江戸時代の話が語られることが多かったですが、100周年を迎えるに当たり、「名勝小金</p>
--	---

<p>亀山委員長</p>	<p>井（サクラ）」がどのような背景で誕生したのか、について見直すことが必要である、との考えの下で、今回清水氏に講演をお願いさせていただきましたが、期待以上の大変内容の濃いお話を伺うことができました。</p> <p>ありがとうございました。講演内容は配布資料に記載されている、とのことですので、皆様適宜ご覧いただければ、と思います。</p> <p>それでは、「ウ 玉川上水・小金井桜を紹介する動画作成及び公開について」についてご説明をお願いします。</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>本事業につきましては、「100周年記念事業」という観点とともに、整備事業のより一層の周知・啓発を図る観点から、この度、小金井市公式YouTubeに、3本の動画を作成し、公開いたしました。</p> <p>「玉川上水・小金井桜」という大項目の中に、1本は「桜の名所の誕生」というタイトルで、これは主に江戸時代の話になります。2本目は「名勝指定と名勝の荒廃」というタイトルで、これは主に明治時代～昭和時代初期の話、3本目は「次世代に繋ぐ整備活用事業」というタイトルで、これは主に平成以降の、まさに現在行っている整備事業の話をメインに、最新情報も盛り込んだものになります。</p> <p>それぞれ10分程度の、できる限りコンパクトに仕上げた動画となっております。</p> <p>動画の製作を担った生涯学習課並びに大熊教育長の考えの下、学校教育の場でも利活用できるようなつくりを目指したものとしており、長過ぎず、また、テーマ毎に沿って製作したものです。</p> <p>今後はこういった、こちらから仕掛けていくような取組も必要と考えており、これからも色々と検討してまいりたいと考えております。</p> <p>私からの報告は以上です。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>この動画は、誰でも、いつでも観ることができるものなのでしょうか？</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>はい。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>小金井市公式ホームページから観ることはできますか？</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>可能です。YouTubeのトップページから「小金井桜」で検索を掛けていただく形でもご覧いただくことが可能です。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>令和4年の桜の開花時期に、空中からドローン撮影を行った映像がありました。あの映像は公開されていないのですか？</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>実は、ご指摘いただきましたドローン動画につきましても、3本目の「次世代に繋ぐ整備活用事業」の中でも活用させていただいていますし、ドローン撮影を行った動画単体でも当然ご覧いただくことができます。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>ドローン撮影を行った動画単体はどのようにすれば観ることができますか？</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>YouTubeのトップページから「桜ドローンプロジェクト」という項目で検索を掛けていただくと、全国の桜の名所をドローン撮影した映像の中の1つとして、小金井の桜の映像も1つの名所として公開して</p>

<p>亀山委員長</p>	<p>いただいています。1本の動画の中で、何百箇所もの桜の名所の映像が収められています。</p> <p>そのYouTubeで、全国の桜の名所の映像を観ることができるのですね？</p>
<p>高木主任(学芸員)</p>	<p>はい。本当に凄い映像です。山奥に存在している桜についても、上空から撮影を行っていますので、通常では見えにくい所にある桜もご覧いただくことが可能です。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>ドローン撮影にはどれくらいの費用が掛かるのかはわかりませんが、可能であれば、小金井桜の映像を毎年満開の時期に定点で撮影できれば面白いと思います。そのような映像があれば、成長の度合い、葉張りや、定量的な花の量等が精緻にわかります。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>航空測量会社がそのようなノウハウを持っていますので、その系統の会社に委託すればそういった分析も可能と思います。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>価格は高いと思いますが。</p>
<p>碓井係長</p>	<p>予算的な話も出てまいりますので、正直この場でご回答させていただくことは難しいですが、どの程度の金額が掛かるのかを調査するところから研究させていただければ、と思います。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>専門家による分析込みになりますとやはり相当高い、ですよ？小金井市役所の中でノウハウを持っている職員の方はいないのですか？</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>今は、ドローンを飛ばす資格自体が国家資格になっており、飛ばすことができる人も、飛ばすことが可能なエリアもすごく限定されている、というのが現状です。ですので、私の知人の中でもドローンを所有しているにも関わらず飛ばすことができなくなってしまった、という人も大勢います。</p>
<p>委員全員</p>	<p>それでは、本件は以上でよろしいでしょうか？ (異議なし)</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>本日本日予定していた議題は以上となりますが、その他何かございますか？</p>
<p>碓井係長</p>	<p>事務局からは特にございません。</p>
<p>亀山委員長</p>	<p>次回会議の予定等についてはいかがですか？</p>
<p>碓井係長</p>	<p>次回会議につきましては、毎年度桜の開花時期に恒例とさせていただいてございます、玉川上水沿いの現場視察を予定させていただいています。</p>
	<p>令和4年度の視察の際に、初めての試みとして実施させていただきました、視察後の委員の皆様、東京都の担当者等の関係者列席の下での「意見交換会」につきましては、東京都との調整も必要となりますので、今この場で実施の可否についてお答えすることは難しいですが、小金井市といたしましては、今後も継続的にそのような場を設けさせていただければ、と考えさせていただいておりますので、正式には、開催通知等で委員の皆様にはお知らせさせていただければ、と考えておりますので何卒よろしくお願いいたします。</p>

<p>亀山委員長 碓井係長</p> <p>亀山委員長</p>	<p>なお、開催日の候補日につきましては、令和5年4月5日（水）、6日（木）、7日（金）を現在考えさせていただいております。</p> <p>この3日間の中で、この場で委員の皆様のご予定が合う日がございましたら、その日で決めさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか？</p> <p>では、令和5年4月6日（木）でお願いします。</p> <p>では、当日の集合時間等の詳細につきましては、追ってメール等でご連絡させていただければ、と思いますので、何卒よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。本日もどうもありがとうございました。</p>
------------------------------------	--